

基本方針3「背景や状況に応じた生きる支援」の推進に向けた ゲートキーパー養成研修ステップアップ編の開催について

資料 4

自殺対策関係課会議における各課からの意見

相談者が精神的な問題を複合的に抱えているケースが多い。こうした相談に対応するための専門的な知識が必要。

希死念慮に関する専門的な対応には限界がある。

希死念慮を適切に評価するための視点や判断の目安となる指標があれば。判断の目安を知っておくことで、アンテナの張り方が変わるのではないか。

家庭背景に問題がある人を対象とする中、重症度や緊急度の判断が難しい場合がある。

自殺に関する専門の相談窓口でなくても、対応能力を向上させることや関係機関と連携すること、専門的知識をつけることが必要。

【習得したい内容として挙げられた内容】

- ・自殺企図の程度をどのように評価すべきか(リストカットの数や深さ、広がり、過量服薬の服用錠数などで判断？自殺未遂の有無？、服装の乱れや急に連絡が頻繁でなくなるなど、具体的な観察ポイントについても知りたい)
- ・精神科医からみた適切なコーピング方法について
- ・支援に拒否がある方への効果的な支援介入方法について
- ・リストカット等、自傷行為をした人への有効な声かけ(具体的な声かけ)
- ・孤独・孤立は自殺リスクが高いが、孤立している人に気づくにはどうすればよいか
- ・「この発言があったら危険」や「具体的なエピソードが見られた場合はリスクが高い」、「このような状態なら家族が見守るべき」といった具体的な判断基準や対応方法

令和8年度 ゲートキーパー養成研修 ～ステップアップ編～

日時：令和9年1月28日（木） 11：00～12：00

場所：草津市役所8階大会議室

講師：草津市自殺対策推進会議 田中委員長（ひつじクリニック院長）

内容：相談支援従事者が個別支援を実施する中での自殺企図リスクの判断や緊急性の評価を行うための専門知識の習得について